

若年性認知症交流会だより

No.2

平成 23 年 5 月 発行

○工作プログラム

(一月) 色紙に和紙で作ったダルマを貼って、今年の抱負を書き、願いを込めて左目に筆を入れました。

力まず、無理せず、「それでええやん」自分へのメッセージです。



「怒らない!」多分、きつと...

皆さん、思い思いの言葉の色紙に書き入れました。

☆怒らない!

☆おには〜そとふくは〜うち

☆今年は何も笑いません

☆日々を喜び、日々を楽しみ、日々感謝

☆福よ、来い、来い

心穏やかに、日々を笑顔で過ごせますように... みんな、共通の願いです。

こんな作品をつきました。



少しずつ仲間が増えていきます

若年性認知症交流会が開始して以降、毎回、十二名の方にご参加いただいています。

これまでの間、認知症のご本人は、女性が3名、男性が7名、ご家族は十八名の方が交流会に足を運んでくださいました。他に、認知症の人と家族の会のお世話役の方、ケアマネジャー、あんしんすこやかセンター職員等々、たくさんの方が交流会に来てくださり、それぞれの立場で、若年性認知症に向き合っています。

ご家族が若年性認知症との診断を受け、今後の生活がどのように変化していくのか不安を抱えるご家族にとって、先輩介護者のアドバイスは何にも代え難く、交流会の場での情報交換を大きな支えにされている方がおられます。また、これまで大きな山あり、深い谷ありの日々を歩んで来られた介護者の方は、毎日をいかに楽しく過ごすか、まさに工作プログラムのコーナーでご紹介した「日々を喜び、日々を楽しみ、日々感謝」や、「福よ、来い、来い」の気持ちで、交流会にも、とにかく楽しもう!と参加して下さっています。

初めは、ご家族だけで参加されていた方が、回を重ねるうちに、認知症のご本人を連れて参加してくださったり、お知り合いを誘って来てくださったり、と少しずつ仲間が増えつつあり、嬉しく思っています。

今後、少しずつ交流会の仲間が増えてきた時にも、参加者の皆さんがどのような期待を持って交流会に参加されているのかということも大切にしながら、先月よりも今月、今月よりも来月、と楽しく、有意義な交流会に成長していきたいと考えています。

参加者のささやき...

毎回交流会参加者の皆さんには、アンケートにご協力いただいているのですが、皆さん、大らかな気持ちで、「楽しかった」「おやつが美味しかった」と私たちスタッフの耳に心地よい言葉が並び、そこそここの度、敢えて、交流会へのご要望をお聞きしてみました。

そ〜お? そんなに言うならひと言...と聞かせていただいた内容をご紹介します。

「いつも主人と参加させてもらっていましたが、交流会の帰り道、寂しい気持ちになることもありますが、鈍いでしょう。だから、歌を歌う時も、ゲームをする時も、あまりスタッフの皆さんから誘ってもくれないように感じています。帰る道々、せつなくみんなが集まる交流会に来ているのに、こんな風に寂しい気持ちになるなら、二人で過ごせば良かったなあ、と主人と二人寂しい気持ちになるんです。もう少し、主人にも声をかけてくれたらなあ...主人が楽しんでいると、私も嬉しい。主人がつまらない様子だと、私も悲しくなります。」と、いつも明るく快活な奥様からのお話でした。

確かに、私達スタッフも、参加者の方のお気持ちを推し量ることができない時は、強く誘いすぎることがあります。交流会に参加して、返って寂しい気持ちにさせてしまったと思うと、申し訳ない気持ちになります。しかし、同時に、やはり聞かせていただけて良かった!とも感じました。お知り合いになって、まだ半年。少しずつ、少しずつお互いに理解し合えるようになっていくといいなと思いつつ、先月よりも今月、今月よりも来月、より楽しんでいただける有意義な交流会にしていきたいという気持ちになりました。

半年後、奥様からケロツとした表情で、「そんなこと言ったかな?」と聞いていただけると言うように明るく楽しい交流会を目指してがんばります。お話を聞かせていただき、ありがとうございます。

交流会に参加しませんか

今後も毎月第三土曜日に交流会を開催します。認知症のご本人・ご家族はもちろん、介護サービス事業所にお勤めの方等、若年性認知症に関心のある方の参加もお待ちしております。

昨年十二月に第一回交流会を開催して以来、毎月第三土曜日、総合福祉センターに集うようになって半年が経ちました。交流会では、工作、室内ゲーム、調理、音楽が定番のプログラムですが、中でも、調理のための買い出し兼散歩は、いつも人気です。やはり、外の風にあたるのは気持ち良いものですね。買い出し班は、スタッフを含めると、時には十数名と大人数になります。ゾロゾロ連なっていくのは、近くのスーパーで、所狭しと目的の品探しに励んでいます。寒い季節は鼻をすすりながら、暖かくなってきたからは鼻歌を歌いながら、買い物袋を下げて交流会の部屋へ帰って来られる皆さんの表情はいつもこやかで、出迎える側も嬉しくて、思わず笑顔です。

(4月) 快晴!! 少し揺れましたが、楽しい船旅でした。

(1月) 白玉ぜんざい、カラダがぽかぽか暖まりました。

(4月) 焼きそばを作りました!!



買い物帰りに湊川神社に立ち寄るのは、いつものコースです。

(二月) 中身を抜いた卵の殻に着物を着せて、雛タマゴ



見本はダルマだったはず...ん? 赤鬼・青鬼???



色紙に貼って...こんな風になりました。「おには〜そとふくは〜うち」



おひなさまが作れていいお土産になりました。



2011.2.19

〈お問い合わせ〉

神戸市社会福祉協議会 福祉事業2課
〒651-0086
神戸市中央区磯上通3丁目1-32
こうべ市民福祉交流センター4階
電話:078(271)-5316 FAX:078(271)-5366
E-mail: zaitaku@with-kobe.or.jp
URL: http://www.with-kobe.or.jp

